

1000万ドルと人質に大統領を要求/そして彼等は発射ボタンを押した...10・9・8...

合衆国最後の日

TWILIGHT'S LAST GLEAMING

バート・ランカスター
リチャード・ウッドマーク
チャールズ・ダーニング
ジョセフ・コットン
メルビン・ダグラス
リチャード・ジェッケル
ポール・ウィンフィールド

〈カラー作品〉

監督 ロバート・アルドリッチ

脚本 ロナルド・M・コーエン

エドワード・ヒューブッシュ

音楽 ジェリー・ゴールドスミス

(サントラ盤A & M)

原作 ウォルター・ウエイカー

(徳間書店刊)

日本ヘラルド映画

Herald

合衆国最後の日

〈カラー作品〉アメリカ・ロリマープロ超大作 ● 日本ヘラルド映画
 原作/徳間書店刊 ● サントラ盤/A&Mレコード



映画史上最高のスリルとサスペンス!

1981年11月、アメリカ合衆国で全世界を破滅するにたる震撼すべき事件が勃発した。9基のタイタン・ミサイルを備えたモンタナ州の基地が州刑務所を脱獄した4人の男に占拠されたのだ。ミサイルの弾道はソ連に向けられていた。犯人のリーダー格はもと米空軍大佐のローレンス・デルといい、科学者としても有能な男だった。ミサイル基地の設計者こそデルその人であった。彼が投獄されたのは、ベトナム戦争中のハト派的な発言がわざわざいっていたのだ。デルたちはミサイル発射ボタンに手をかけ、大統領に国家機密文書の国民への公表と国外逃亡の資金1千万ドルを要求した。しかも、逃亡地まで空軍による護衛と大統領自身が入質になることを指令した。猶予は90分だった。

犯人、大統領をはじめとする政府高官、軍部の三者の間で、息づまる秒刻みのかけひきが展開する。そして、戦車と小型原子爆弾で犯人たちを抹殺しようとする軍部の計画が実行されるや、デルはミサイルの発射ボタンを押す。轟音と共に地下格納庫から地上に向けてせり上つてゆく9基の核ミサイルの恐怖と衝撃。映画史上に、これ以上の生々しいスリルとサスペンスがあったらだろうか。

全米で轟然たる話題!

合衆国に対する国民の信頼の回復と、知る権利を目的としたこの単独クーデターが、全米を震撼させ、ワシントンD・Cのケネディ



パート・ランカスター



チャールズ・ダーニング



パート・ヤング



ポール・ウィンフィールド



ジェラルド・S・オルーリン



ウィリアム・マーシャル

・センターでの試写会には、ジミー・カーター大統領夫妻、ジョージ・マクガバン上院議員をはじめ、各界のVIPも多数出席し、轟然たる反響を巻き起こし、もつと全米で大ヒットになっている衝撃の話題作である。

「現代アメリカ人の最大の関心事は、『ブーン・ガバメント』の問題であり、この映画の時代設定は81年だが、主題はもつとも今日的な『ベトナム戦争』である。アルドリッチ監督の才能はこれらの政治問題を、無器用な政治ドラマの罫に陥入れることなく、サスペンスをみごとに積みあげた超一流のスリラーにしている」(ハリウッド・リポーター誌・ロン・ベントン)という批評が適確にこの映画のすべてを語っているように、ボストン・ベトナムとウォーターゲート事件以降のアメリカ人の政治、社会的な関心を集約した映画であり、「大統領の陰謀」などと今日この作品はアメリカ全土は言うに及ばず、全世界をもゆるがす起爆力をひめて論議的のたっている。

興奮を盛りあげる超豪華スタッフ・キャスト
 監督は、「ベラクルス」「攻撃」「特攻大作戦」「ロンゲスト・ヤード」など、ダイナミックなアクション映画を作らせては当代随一の名匠ロバート・アルドリッチ。
 この映画の原作となつているウォルター・ウエイガールのベストセラー小説「バイパー・スリー」をロナルド・M・コーエンとエドワ



「攻撃」「特攻大作戦」「ロンゲスト・ヤード」の名匠
 ロバート・アルドリッチ監督

ード・ヒューブシュが共同で脚色。撮影は、「栄光のル・マン」「ソルジャー・ブルー」のロバート・ハウザーが担当。「オーメン」「カサンドラ・クロス」など、サスペンス映画で最高の実績を残しているヒット・メカカー、ジェリー・ゴルドスミス音楽も抜群の迫力で効果をあげている。主題歌の「マイ・カントリー」は米国の第2の国歌として国民に愛唱され、ソウル歌手ヒリー・プレストンが情感豊かに歌いあげている。
 また、「キャバレー」でアカデミー美術監督賞を獲得したロルフ・ツェヘトバウアーがミュンヘンのスタジオに設計したミサイル基地内のセットは最高の見ものである。

「カサンドラ・クロス」のパート・ランカスター、「オリエント急行殺人事件」のリチャード・ウイドマーク、「狼たちの午後」のチャールズ・ダーニング、「ロッキー」のパート・ヤングをはじめメルビン・ダグラス、ジョセフ・コットン、ポール・ウィンフィールドなど、現代アメリカのトップ・クラスの名優を総動員した演技陣はまさに壮観である。



リチャード・ウイドマーク



ジョセフ・コットン



メルビン・ダグラス



リチャード・ジェッケル



リーフ・エリクソン

● 5月下旬緊迫の大ロードショー決定!

日比谷映画 (591) 5353

渋谷スカラ座 (461) 1929

新宿スカラ座 (351) 3127

相鉄映画 (045) 6226